



ゆいぐみつうしん 9月号 NO.2

津山市立みどりの丘保育所 R3.930. 5歳児池上

「かわいそうじゃけん」「みずかえてあげよう」

育っている姿☆(自立心、協同性、思考力の芽生え、生命尊重、言葉による伝え合い)



かわいそうじゃけん
うめてあげよう

みずかえてあげよう!



じゃあ、ちょっと
もっていてあげるけん!

運動会に向けて踊りやリレーを頑張っていますが、合間の外遊びもとても嬉しそうな子ども達です。その中でも、特に夢中なのが『虫探し』です。以前、散歩に出掛けた際に捕まえたバッタやキリギリス、コオロギなどを虫かごに入れていつも気にして見たり、「餌、食べよう〜!」「かわいい!」とお世話をしたりと喜んで触れて、観察しています。子ども達の中で「ずっと虫かごに捕まえていたら、死んでしまうで!」「放してあげようや」など話し合って園庭で捕まえては、しばらく観察したら逃がしてを繰り返していく中でも、残念なことにバッタやコオロギなど死んでしまうことがありました。「バッタが死んだる」「餌が足りなかったのかな」「暑かったけん、水が欲しかったんで」「あんまり触るけん弱ったんよ」とそれぞれに子ども達同士で話し合っていました。子ども達の話し合いの中で「かわいそうじゃけん、埋めてあげよう」「お墓作ってあげる」と優しく埋めてあげる様子が見られました。また、新たなバッタを捕まえて「今度は、バッタが水を飲みやすいように小さいお皿にきれいな水をいれてあげよう」「おれが、水かえるけん!」「ねこじゃらし、探さんといいけん」など虫をみんなで世話をしよう話し合っていました。

ただ捕まえるだけでなく、そこからどうしたらいいかを考え、どんなに小さくても一つの大切な命であることを感じていることに心の育ちを感じています。最後まで責任をもって大切に接することを今後も一緒に考えたり、友達と話し合ったり、調べたりできる環境を大事にしていきたいと思ひます。